

SNS選挙危うさ浮き彫り

ルーマニア大統領選を巡る構図 (写真はAP)



ジョルジエスク氏

← 宣伝に関与

TikTokインフルエンサー

← 報酬?

暗号資産事業を手がけていたルーマニア人の男

11月24日に行われた大統領選の第1回投票。世論調査で支持率1桁台の無名候補から首位に躍り出たのは、親ロシア派の極右シヨルジエスク氏(62)だった。自国第一を掲げる欧州連合(A)懐疑派で、ロシアのゲーチン大統領を称賛。TikTokを駆使し、選

挙費用は「ゼロ」だと公言していた。選挙結果は国内外に驚愕をもたらし、政府はシヨルジエスク氏躍進の裏にロシアの介入があったとみている。治安当局は「ルーマニアはロシアによるハイブリッド攻撃の標的だ」と指摘した。

東欧ルーマニアの大統領選で、泡沫と目された候補が動画投稿アプリTikTok(ティックトック)による選挙運動を展開して首位となり、憲法裁判所が無効を宣言し、やり直しを命じた。インフルエンサーが報酬を得て関与し、情報が拡散したことが判明。選挙での交流サイト(SNS)活用の危うさが浮き彫りとなった。

ルーマニア大統領選 無名候補躍進に無効宣言



報酬得たインフルエンサー情報拡散

当局の文書によると、TikTokで組織的な宣伝が行われたり、おすすめ動画を選定するアルゴリズム(計算手法)が濫用されたりして、シヨルジエスク氏の人気が爆発的に高まった。異変が始まったのは選挙の2週間前。約2万5千のアカウントがシヨルジエスク氏に関する投稿で突然活発になった。通信アプリなどを介して何者かがインフルエンサーらに指示を出し、投稿が拡散。法律で定められた選挙関連であることを示す表示もなかった。憲法裁は今月6日、当局

などの調査結果を受け、選挙のやり直しを命じた。利用された「シヨルジエスク氏の宣伝になると思わなかった」。憲法裁の決定後、国内のインフルエンサーが「投票促進キャンペーン」として投稿を請け負ったと相次ぎ名乗り出て謝罪した。報酬を受け取ったインフルエンサーは、指示に従って「大統領に求める資質」を動画で語り、決められたハッシュタグ(検索目印)を付けて投稿。コメントに



はシヨルジエスク氏を支持する声があふれた。インフルエンサーらは計38万(約3900万円)が支払われていた。当局は資金源として暗号資産産業を手がけていたルーマニア人の男を調べるとともに、ロシアの関与についても追及。事態を重く見たEU欧州委員会はこの選挙を巡りTikTokの調査に乗り出した。シヨルジエスク氏に投票した南部プロエシユティの元軍人タニエル・イスタラテイさん(55)は「インフルエンサーが推していたから、シヨルジエスク氏の動画をよく見るようになって」と振り返る。「操作されたとかおかしとか、そんなことは思いもしなかった」(プロエシユティ共同

ルーマニア大統領選の結果が無効になった後、報道陣の取材に応じるシヨルジエスク氏(中央)＝8日、カレスト近郊(ロイター＝共同)

を行ったことで、人気が高まったから。

3 地図の国名を、次の㉠～㉥から選んで、記号で書きましょう。



㉠ロシア ㉡フランス

㉢ウクライナ ㉣ドイツ

B	C	
D	E	

NIEワークシート 中～高校

左の記争を訊んで、下の問いに答えましょう。

1 空欄Aに「欧州連合」を表すアルファベットを書きましょう。

[Blank box for answer 1]

2 傍線部のようになっているのはどうしてかを説明した次の文の空欄に、本文中から適語を抜き出し、解答欄の字数に合わせて入れましょう。

インフルエンサーが

[Blank box for answer 2]

を得て、

[Blank box for answer 2]

NIEワークシートのこたえ（2024年12月25日公開）

◆ワークシート「ルーマニアの選挙とSNS(社会)」
2024.12.21日付 朝刊 5面 解答

1 EU

2 報酬 情報拡散

3 B イ C エ D ウ E ア